

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	兵庫県歴史文化遺産総合活用推進事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>兵庫県は、歴史や、風土、産業などの違いから、大きく摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の5地域に分けることができ、それぞれの地域がこれまでの歴史等により培われた多様な文化を持ち、数多くの文化財（歴史文化遺産）を有している。</p> <p>これまで兵庫県では、地域の特色ある歴史文化遺産を活用して「ふるさと文化の創造的伝承」を実現する『歴史文化遺産活用構想』をとりまとめ、各市町教委と連携して地域の歴史文化遺産の見直しやその特性を活かした活用策について検討してきた。</p> <p>また、住民自らによる、地域の身近な歴史文化遺産を活かした魅力あふれる地域づくり、地域を愛する人づくりの推進を図るため、歴史文化遺産を発見し、コミュニティの財産として活用する「歴史文化遺産活用推進員（ヘリテージマネージャー）」の養成を全国に先駆けて実施してきた。</p> <p>今回の事業実施にあたっては、この『歴史文化遺産活用構想』に基づき作成した「歴史文化遺産活用ガイドライン」（別添）を踏まえながら、以下の視点により企画・立案された歴史文化遺産を総合的に活用する事業を実施する。</p> <p>① 歴史文化遺産を発見し、その総合的な活用を図るヘリテージマネージャーの県下全域を対象とした育成事業</p> <p>② 市町域を越えて、市町教委や地域住民、NPO法人等が実施する取組で「地域おこし」や「まちづくり」につながる歴史文化遺産を総合活用する事業</p> <p>③ 隣接する市町・地域等が連携して歴史文化遺産の総合的な活用に取り組むことができるようなモデル事業</p> <p>(1) 「兵庫県のまつり」情報発信事業（平成29年度～平成33年度）</p> <p>(2) 兵庫県ヘリテージマネージャー人材育成事業（平成29年度～平成33年度）</p> <p>(3) 兵庫県名勝部門ヘリテージマネージャー人材育成事業（平成29年度～平成33年度）</p> <p>(4) 兵庫県みどりのヘリテージマネージャー人材育成事業（平成29年度～平成33年度）</p> <p>(5) ひょうごのお城ウォーキング事業（平成29年度～平成33年度）</p> <p>(6) 兵庫県の民俗芸能公開事業（平成29年度～平成33年度）</p>			
6 実施体制			
<p>本事業は、兵庫県教育委員会事務局文化財課が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。</p> <p>また、事業の実施については、次の団体が実施。</p> <p>兵庫県歴史文化遺産総合活用推進実行委員会（会長：村上裕道）</p> <p>構成団体（兵庫県教育委員会事務局文化財課、みどりのヘリテージマネージャー会、兵庫県名勝部門ヘリテージマネージャー連絡会、ひょうごヘリテージ機構H2O、兵庫県無形・民俗文化財保護協会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 0 千円	平成29年度申請額： 2,733 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>本計画に基づく歴史文化遺産を総合的に活用する事業の実施により、県民が身近にある地域資源に関心や興味を持ち、そのなかに歴史や文化を見出していく機会となることが期待できる。</p> <p>また、文化財保存団体や文化財所有者にも自己の文化財の価値を再認識してもらうとともに、様々な団体や住民との交流をきっかけとして、文化財保護・活用の意識向上を図ることができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>平成15年3月に、兵庫県では、地域の特色ある歴史文化遺産を活用して「ふるさと文化の創造的伝承」を実現する『歴史文化遺産活用構想』をとりまとめ、各市町教委と連携して地域の歴史文化遺産の見直しやその特性を活かした活用策について検討してきた。この『歴史文化遺産活用構想』に基づき「歴史文化遺産活用ガイドライン」を平成19年3月に作成した。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	兵庫県教育委員会事務局文化財課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	地域に誇りを感じる住民の割合					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	住んでいる地域には、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)があると思う人の割合			関連事業:	①②③④⑤⑥⑦	
目標値 1 :	平成 28 年度	53 %	⇒	平成 33 年度	56 %	
設定根拠 1 :	平成28年度までの毎年度平均伸び率0.6%を参考として、毎年度伸び率0.6%と設定。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	%
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産を活用した取組数(本事業の取組を除く)					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	地域の文化遺産を活用した取組数			関連事業:	①②③④⑤⑥⑦	
目標値 2 :	平成 28 年度	186 件	⇒	平成 33 年度	280 件	
設定根拠 2 :	ヘリテージマンズの参加件数の年度ごとの増加件数約20件を参考にして毎年度20件増加と設定。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
件	件	件	件	件	件	件
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 3 :	兵庫県無形・民俗文化財保護協会参加団体(175団体)の保存会会員数			関連事業:	①⑧	
目標値 3 :	平成 28 年度	175 団体	⇒	平成 33 年度	175 団体	
設定根拠 3 :	兵庫県内各市町の人口減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
団体	団体	団体	団体	団体	団体	団体

事業④：	兵庫県名勝部門ヘリテージマネージャー人材育成事業	実施団体：	兵庫県名勝部門ヘリテージマネージャー連絡会
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度
事業概要：	県内の各地に残る歴史ある庭園の維持管理方法の検討を通じて、歴史文化遺産の価値を見いだすための必要な資質の向上、活用手法の検討を通じて歴史文化遺産の総合的活用のために必要な人材育成を行なう。また、ヘリテージマネージャーのスキルアップのために名勝の整備実戦現場において研修を行なう。		
評価指標区分：	・ヘリテージマネージャー育成講座修了者の後年度活動者数	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	指定文化財での庭園管理及び講習会などでの活動人数		
目標値：	平成 28 年度	20 人	⇒ 平成 33 年度 60 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
人	人	人	人
事業⑤：	兵庫県みどりのヘリテージマネージャー人材育成事業	実施団体：	兵庫県みどりのヘリテージマネージャー会
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度
事業概要：	県内各地にある天然記念物である樹木の調査・診断 保全処置を通して、歴史文化遺産の価値を見いだすための資質の向上、活用手法の検討を通じて歴史文化遺産の総合的活用のために必要な人材育成を行なう。また、ヘリテージマネージャーのスキルアップのために史跡等での植栽計画の指導や、天然記念物再生事業を進める地域の保存会と研修などを実施する。		
評価指標区分：	・ヘリテージマネージャー育成講座修了者の後年度活動者数	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	指定文化財での樹勢回復事業及び講習会などでの活動人数		
目標値：	平成 28 年度	20 人	⇒ 平成 33 年度 60 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
人	人	人	人
事業⑥：	ひょうごのお城ウォーキング事業	実施団体：	兵庫県歴史文化遺産総合活用推進実行委員会
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度
事業概要：	旧5国からなる兵庫県には、県内各地に多様な城郭が存在する。世界遺産である姫路城には世界各地から多くの観光客が訪れ、国内外から日本の「お城」への関心がますます高まっている。これら城郭への関心の高まりを地域の活性化につながる好機とし、その地域の魅力を伝えるために専門家の案内による城巡りウォーキング（5回）を実施する。		
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	・地域の文化遺産を活用したイベント数（本事業の取組を除く）		
目標値：	平成 28 年度	20 件	⇒ 平成 33 年度 40 件
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
件	件	件	件

事業⑦：	兵庫県の民俗芸能公開事業			実施団体：	兵庫県無形・民俗文化財保護協会	
事業区分：	普及啓発			事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	兵庫県内で行われている民俗芸能を一堂に公開することにより、そのすばらしさをより多くの県民に周知し、郷土を愛する心を高揚する取組として、民俗芸能発表大会を行う。この民俗芸能大会の開催をとおして、県内の各保存団体の保存継承、活用への意識の向上させ、少子高齢化等により民俗芸能の継承が困難な状況の解決につなげる。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	兵庫県内各市町の人口減の状況から、現状維持を設定					
目標値：	平成 29 年度		100 %	⇒	平成 33 年度 100 %	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	